事業所名		Becoming LL		支	を援プログ	` ラム	作成日	2024	年	10	月	1 日	
法人(事業所)理念		「Becoming」とは、「~になる」という意味です。私たちは、今、それぞれの未来を創りあげるために、日々の取り組みに力を注いでいます。 私たちは、「Becoming」を選び、利用してくださる方の未来を共に築くパートナーです。子どもたちが持つ「魅力」「チカラ」「可能性」を最大限に引き出し、それぞれが輝ける未来を目指しています。 私たちは、「どこにいてもあなたらしくいられる」を創りたい・・・互いを尊重し合いながら、自分らしく生きていける社会です。 私たちは、そんな未来を一緒に築いていきます。											
支援方針		□未来を切り開くチカラ 私たちは、Becomingを利用するこどもたちが、自分の未来を主体的に切り開いていけるよう、セルフエージェンシー(自己決定力)を育み、高めることを支援する また、セルフエフィカシー(自己効力感)を養うことで、自分自身の可能性を信じ、困難に立ち向かう力や幅が広がるよう、支援する □みんなで育み喜びを共有 こどもに関わるすべての人たち(家族・関係機関含む)が、子(個)を育てるということに誇り、楽しさ、そしてワクワクを感じながら、かけがえのないコミュニティを作り上げることを支援する											
	営業時間	8 時	30 分から	17 時	30	分まで	送迎実施の有無	なし					
支							支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	□子どもの生活・社会参加・学習等での育ちを応援するための心身機能の参加・能力・機能レベルの評価 □実際の生活での適応行動について、評価・社会参加に向けた支援 □TEACCH・ABAなどを取り入れながら、構造化を意識したレイアウトやプログラム提示などの視覚支援含めた支援を通して、能動的行動やチャレンジする経験へとつなげる □生活リズム安定のための環境調整 □自分の健康や生活についての主導権(主体的に生きる)を握る力を育む □主体的に「できる」「できた」を体験し、問題解決能力を育むためのco-opアプローチ											
	運動・感覚	□感覚プロファイルなどの評価・分析 □眼科と提携し、眼の評価・分析後、療育でのセッションにビジョントレーニングを取り入れながら、眼と手の調整・目と身体の調整・学習などに向かうことができる □揺れる・つかまる・バランスをとるなど、大型遊具を用いながら、身体の形成に必要な感覚をや育みます(感覚統合療法) □感覚運動活動を取り入れ、感覚の土台を強固に積み上げ、自己理解につなげ、生活がより豊かなものとなるようサポートする □机上課題による巧緻動作の評価・分析・練習 □感覚に特性があってもきみらしく社会参加するための道具や環境設定 □身体的コミュニケーションによる愛着・Bodyイメージ・身体定位の形成											
	認知・行動	□総合的な自己のメタ認知力を育み、CBTやWRAPを通して、家族全体のセルフケア能力を高める □作業活動(工作や制作・ブロック等)による、空間把握・運動企画の認知形成 □小集団活動(2-4人)による適切な行動形成の育ちを応援 □取り組みたい目標を設定し、目標を達成するた作戦を決め、共に考え、試行錯誤しながら目標達成に向かう(CO-OP) □発達検査(WISCやビネー等)を実施・他、医療で実施している検査等の実施可(必要な検査を選択し、ご家族に丁寧説明、同意後実施へ)											
	言語 コミュニケーション	□言葉・コミュニケーションなどの評価・分析 □読み書き支援プログラムに沿って、特性に応じた読み書き支援 □やりとり・ルール理解・予定などのイメージ共有など □JASPERを用いて、対人関係の基礎となる共同注意や日常的な遊びの理解・総合的な関わり・感情調整など焦点を当て、対人コミュニケーションを育む											
	人間関係 社会性	□CAREプログラムによる信頼関係の構築 □小集団(2-4名程度)における、ルール理解や役割分担・役割遂行による共感性や協調性の育ち □他者理解の不確実や伝達の不確実性など要因を対話の中で感じ、柔軟に対応しながら、前に進むことができる耐性を高める □相性に左右されない交流技能の獲得を目指す											
	家族支援	ロご家族との対話を重ね、よいと に信じることができるよう、支え ロ保護者同伴での療育参加の中で	え、ナビゲートする	,		無条件	移行支援	□就学等に向け、本人の持 しく心地よく、安定して生					
	地域支援・地域連携	□家族を通じて、こどもたちが過 療育での関わりや工夫・実施し □必要に応じて、こどもとご家が	ていることを伝える				職員の質の向上	ロセッションごとに振り込 □週1回(午前)の研修・ □月1回の研修報告・会議 □職員の質の向上や満足段	事例についる				
	主な行事等	□月1回(土曜日)は、10名~15名程度(大集団)参加のイベントを開催 例: 制作活動 ・ 料理 ・アクティブな活動 ・ 季節を感じる活動 等 (大集団の中でお友だちと一緒に活動することへの喜びや楽しみを感じ、みんなの中でやれること・できることを遂行できること)											